国土交通省 東北地方整備局　帝京大学 Teikyo University

平成28年2月12日（金）
全国「道の駅」連絡会
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
帝京大学
道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」

記者発表資料

帝京大学の学生が
道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」で就労体験型実習をおこないます。

国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まっている「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の実習の場として活用することを進めております。

昨年の夏期休暇には、全国「道の駅」連絡会が協定締結大学と実習受入れ「道の駅」と調整を行った結果、59名の学生が全国32の「道の駅」で実習を行いました。

今回、道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」で帝京大学の学生が実習をおこないます。

【実習期間】
平成28年2月15日（月）～平成28年2月28日（日）まで
（各日　午前8時30分～午後5時30分まで）

【実習生】
帝京大学　　学生1名

【主な実習内容】
- 「道の駅」を利用した地域の伝統芸能や伝統技術についての実態調査
- 実態調査で得た情報を基に「道の駅」を活用した地域づくりと活性化の提案
- 「道の駅」各部門において諸業務（接客、商品陳列等）を実施し、よりよい商品展示方法や魅力ある商品にするための改善策等の提案

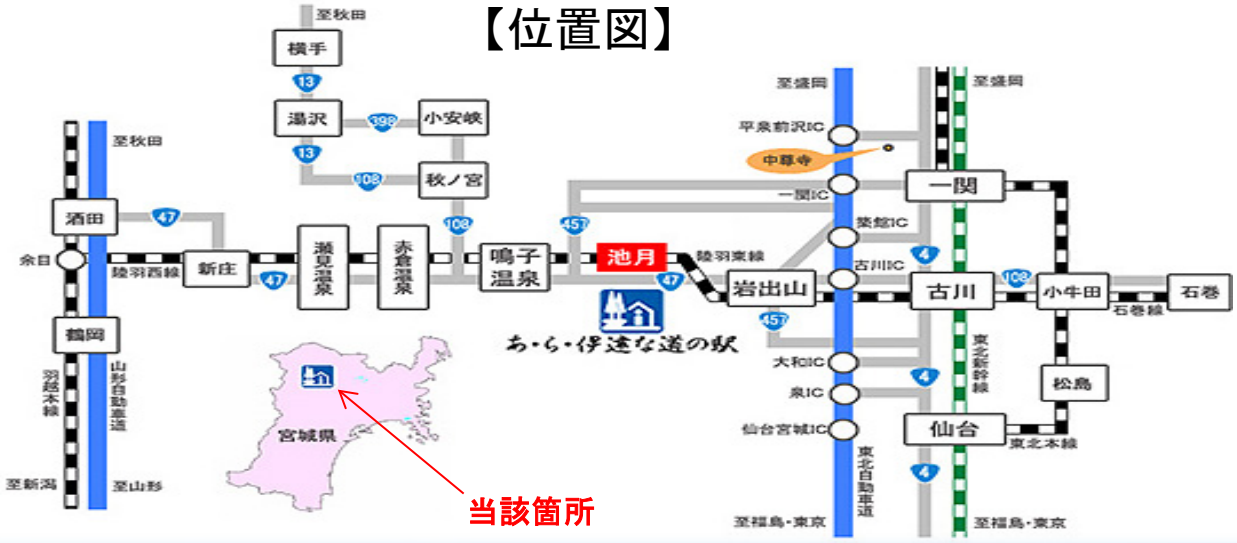
発表記者クラブ
宮城県政記者会・仙台市政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会・古川記者クラブ

問い合わせ先
全国「道の駅」連絡会 【大学との協定について】 事務局　一守（いちもり）　由紀夫（ゆきお）　吉原（よしはら）　功（こう）　箱山（はこやま）　大樹（たいき） 住所：東京都江東区木場2丁目15番12号MAビル3階　　電話　03－5621－3188（直通）
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所 【大学と「道の駅」の交流・連携全般について】 交通対策課長　松本（まつもと）　章（あきら） 住所：仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号　　電話　022－248－4131（代表）
帝京大学　キャリアサポートセンター 【就労体験の実施内容について】 センター長　田口（たぐち）　仁（ひとし） 住所：東京都八王子市大塚359　　電話　042－678－3307（直通）
道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」 【今回の取組みについて】 駅長　遠藤（えんどう）　悟（さとる） 住所：宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下4番地1　　電話　0229－73－2236（直通）

道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」について

〇所在地：宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下4番地1
〇路線名：一般国道47号
〇概　要：道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」は、平成12年8月に宮城県内8番目の「道の駅」として登録されました。道路利用者への情報発信や休憩の場として利用され、数多くの組合員からなる農産物直販売、旧岩出山町と姉妹都市の北海道当別町の人気特産品販売のほか、伊達政宗公が青年期を過ごした史実を基に歴史的文化を発信する「道の駅」として地域全体の観光振興等に貢献しています。**（平成27年1月　重点「道の駅」に選定）**
※　「あ・ら・伊達な道の駅」名称の由来について
文頭の「あ・ら・」はフランス語の「 ala 」を引用し、「～風、～流」を意味し、「伊達な」という修飾語をより強調するとともに、利用者への親しみ感を提供するものとして命名された。

【位置図】





【道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」の全景】



【施設内：農産物直売所】



【施設内：姉妹都市特産品（チョコレート）販売所】

「道の駅」と大学の連携について

○「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。

○地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、**新たな価値の創造**を図り、観光・地域づくりを担う**将来の人材を育成。**

○33箇所の「道の駅」で約60名の様々な大学の学生が夏季休暇を利用した実習を実施予定。

（※この他にもゼミ単位で通年での実習を実施）

実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会で双方のニーズをマッチング

＜実施のメリット＞

＜大学のメリット＞

○「道の駅」は、地域の資源が集中し、地方が直面する課題が明確であり、学習するフィールドとして最適。

＜「道の駅」のメリット＞

○若者ならではの視点、若者の元気による実行力のある企画の実施。

○SNSや口コミなどを活用した情報発信。